

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和7年度分)

施設名	ぐんまこどもの国児童会館	所管課	生活こども部こども・子育て支援課
指定管理者名	(公財)群馬県児童健全育成事業団	指定期間	7 年
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし		R2.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	群馬県太田市長手町480番地
指定管理業務内容	ぐんまこどもの国児童会館の管理運営、児童健全育成事業の実施

2 職員の状況(令和7年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	18 人	
短時間雇用の職員:	3 人	合計: 21 人

3 収支の状況(令和7年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	152,000,000	人件費	100,177,958
その他(物価高騰対策支援金、雑収入、受取利息等)	2,618,006	委託料	33,470,870
		光熱水費	11,633,205
		消耗品費	4,416,519
		その他(諸謝金、修繕費等)	10,884,256
収入合計	154,618,006	支出合計	160,582,808

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和7年度(実績)	(参考)令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)
①年間利用者数(人)	219,445	225,465	210,604
②使用料収入(円) (県納付額)	3,862,450	4,102,770	3,368,400
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
ゴールデンウィーク企画 「開館35周年特別企画 ゲゲゲの鬼太郎トリック アートの館」	4/26~5/6	7,713人	「ゲゲゲの鬼太郎」をテーマとする視覚の錯覚や立体的トリック要素を取り入れた、触っても写真を撮ってもいい体験・参加型の展示	「ゴールデンウィークだけではもったいないくらい面白い」「トリックアートはアートを活用した遊びでもあり、こどもに限らず、中高生や若者、大人も楽しむことができた」

おもしろ科学教室「ゴムゴムのジェット飛行機をつくろう」	7/12	18人	ゴムの張力を使って飛ばす紙飛行機づくりを通し、実際の飛行機が飛ぶ仕組みや揚力の原理を知る	「ゴムの力を使って飛ぶものだったので、飛ぶために必要な要素を知ることができた」
「中高生とちびったちのふれあいタイム」	7/26～27	中高生7人 参加者155人	中高生が幼児から小学生が喜ぶふれあい方を自ら考え、実際に子どもたちと一緒に工作や集団ゲームなどをしてふれあう	「中高生がたくさんほめてくれて、こどもも楽しく、喜んでいました」 「母子家庭で双子な為ママ以外の誰かとおもしろい身体を使って遊んでくれる人がいる事がとてもありがたく、2人ともとてもうれしそうでした」
夏休み特別企画「わくわくだいなそーランド」	7/28～8/24	13,521人	恐竜をモチーフにした遊び場提供	「恐竜の気持ちになれた。初めて化石を見てよい記念になった」 「体を使った遊びもあり、この猛暑の中公園は厳しいのでとてもありがたかった」
食育事業「きらきらフルーツシェフ～ミニパフェを作ってみよう～」	3/15	26人	フルーツやコーンフレーク、チョコスプレー等を使いミニパフェ作り	「本人がとても楽しく作れて家族みんなでおいしく食べられました。こどもが生まれた頃はコロナ禍で食育イベントがなかったのでもううれしく参加させてもらいました。また参加したいです」
プラネタリウム番組投影	通年	28,593人	幼児、こども、一般と分け、対象に沿った番組を投影	人気のキャラクターや恐竜が登場する番組は幅広い年齢層に好まれていた。また、ゴールデンウィーク、夏休み特別企画実施期間中は、相乗効果もあり観覧者数が伸びた
団体利用	通年	484団体15,950人	プラネタリウムや工作等の団体専用プログラムを行う団体と館内を自由に利用する団体の受入	「無料でたくさん楽しめるので子ども達は大満足です」「猛暑日に冷房の効いた部屋を用意していただき、たいへん助かりました」
クラフトルーム 自由利用プログラム・ 季節プログラム	通年	23,389人	「スタンプメッセージカード」「ダンボールきょうりゅう」「パックンハロウィン」「ひなかさざり」等16プログラムを実施	飲料容器やフィルムケース等の廃材、ダンボールや色画用紙等豊富な材料で工作を行った

2. 推進事業

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
地域子育て支援者講習会「子育て支援者のためのカウンセリングマインドを活かした子育て支援」	6/28	32人	子育て支援に携わる方や保護者を対象にカウンセリングマインドを活かしたこどもの関わり方について学ぶ	「自分自身、職場、家庭、どの場面でも使える知識をありがたうございました」「実際に支援されている例などで、とても分かりやすく勉強になりました。ペアレントトレーニングにも興味がわきました」
ジュニアスタッフの七夕☆まつり	7/6	164人	ジュニアスタッフが考えた、七夕にちなんだゲームと工作の提供	「ジュニアスタッフのみなさんのおかげで楽しめました」「ジュニアスタッフの子たちが丁寧に説明してくれたり、優しく接してくれ、楽しく過ごすことができた」
開館35周年記念事業 児童健全育成講演会 「僕、ヤングケアラーでした」	2/11	159人	漫才コンビ「平成ノブシコブシ」として活躍している徳井健太氏を講師に招き、ヤングケアラーとして過ごした小学生時代のことなど、実体験に基づいた生の声を語る	「貧困だけがヤングケアラーになるのではないとわかった」「当事者の声を聞くことができよい機会となった」

ジュニアスタッフの養成	通年	25人	年間を通して活動する、小学4年生から高校生のこどもボランティア。児童会館主催イベントにスタッフとして活動すると共に、ジュニアスタッフが主体となるイベントを企画運営する	「友達になった人もいて、とても楽しめた。まだ自分が経験したことないことも体験出来て楽しかった」「様々な活動に関わることができ、新たに学ぶことも多かった一年だった。年の離れた新しいメンバーとの交流が新鮮だった」
移動児童館(プレーバス巡回)	通年	81か所 2,893人	児童会館の遊びのメニューを県内の子育て支援団体や放課後児童クラブ、児童館等に出向き提供。放課後等デイサービス事業所向けに専用のプログラムを提供。その他、児童相談所一時保護所や小児医療センター分校にも出向いた	「障がいがあるこどもにとって、過ごし慣れた場所でのイベントは大変貴重です。終始にこやかで楽しく過ごせました」「今後の児童館での遊びの参考にさせていただきます」

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

①意見箱設置…通年 ②利用満足度調査…通年 ③団体利用アンケート…通年

(実施方法・回収率等)

①意見箱:任意で記載し、回収箱に投函。毎月末集計し回答を掲示。107件

②利用満足度調査:館全体の満足度調査 16回 1,105件、事業毎の満足度調査 26事業、1,746件

③団体利用アンケート:団体で来館した学校等に依頼。158件

(項目別回答集計)

①意見箱:好意的な意見73件、その他21件、金山総合公園への意見13件

②利用満足度調査(抜粋)

・館全体の満足度:93%

・「夏休み特別企画 わくわくだいなそーランド」参加者向け 7月28日～8月24日の28日間 401枚回収
事業内容の満足度:とても満足79.6%、満足15.2%、普通4.5%、やや不満0.7%

・「ジュニアスタッフの七夕☆まつり」参加者向け 7月6日 12件回収

事業内容の満足度:とても満足83.3%、満足16.7%

③団体利用アンケート

館全体の満足度:とても満足78%、満足20%、普通2%

(利用者からの意見等)

意見箱(抜粋)

お褒め:「毎月、工作をこどもが楽しみにしています。毎回いろんなアイデアがあつてすごいと思います。次回も楽しみにしています。」「無料でこんなに遊べるなんてスゴイです!! 栃木からきたんですがまた利用したいです。ありがとうございました。」「今日は強風のため外で遊べませんでしたが、館内でとても楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。」等の声があつた。

要望:「プラネタリウムの恐竜のプログラムが大変興味深く、こどもが見たかったのですが、暗いのが怖くて入れませんでした。暗すぎないプラネタリウムがあつたらいいと思っています。もし可能ならご検討ください。」という意見があつた。

利用満足度調査(抜粋)

お褒め:「暑い時期はこどもが遊べる場所が少なく困りますが、ここに来ると1日中遊べるので助かっている。」「このようなイベントをまたお願いしたいです。どうしてもママは家にいるとガミガミ怒るし、ゆっくり遊んであげる余裕もないため感謝です。」「何回行っても飽きなくて、どんどん色々な工作が変わっていてよかった。」等の声があつた。

要望:「夏休みの絵やポスターの宿題のヒントになる(できれば完成する)イベントをぜひお願いしたい。科学の力で絵描きはどうか。」等の意見があつた。

団体向けアンケート(抜粋)

お褒め:「広さ、安全性、雨天時の活動などすべてにおいて利用しやすかったです。こどもたちも大満足でした。」「プラネタリウムの解説がわかりやすく楽しく星のことを知ることができた。」等の意見があつた。

要望:「トイレを新しくしていただけるとありがたい。」「団体が重なると予約(プラネタリウム)がとりづらく予定を変更しなければいけないところ。」等の意見があつた。

(調査結果分析)

令和7年度の実施事業の利用満足度は92%、館全体の利用満足度は93%であった。全体を通して、好意的なご意見を多くいただいた。近年は、年間を通して過ごしやすい5月、10月でも気温が高い日が多くなってきており、猛暑や悪天候でも無料で遊べる施設として年々需要は高まっている。アンケートではいつきても違うイベントがあり飽きないといった声も多く、リピート率が高いことが推測される。

(調査結果への対応状況)

・利用者(大人・子ども)からの声やアンケートの結果を反映し、何度来ても楽しめるようなイベントを開催する。

・子どもの意見を尊重した事業の展開や運営を行い、子どもが活躍できる場を提供する。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

上記、利用者からの意見等に記載。

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価 (A: 優良、B: 良好、C: 要努力、D: 要改善)

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	・本県の児童健全育成事業の中核として、児童会館の管理運営業務に効果的かつ積極的に取り組んでいる。 ・事業計画に基づき多彩な事業に取り組んでおり、利用者満足度は高水準を維持し、良好な管理運営状況である。	<評価できる事項> ・利用者ニーズを把握し、外部の意見・評価を取り入れながら、新たな企画や改善に取り組んでいる。 ・職員の創意工夫により、児童健全育成に資する事業を継続して行っている。 ・移動児童館事業等により、来館できない子どもたちへもあそびを提供するなど、県内全域の児童健全育成に寄与している。 <改善すべき課題> 来館者数の増加を図るための取組を継続する必要がある。

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	A
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	A
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	自己評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	・平成2年に児童会館が設置されてから35周年を迎え、全館をあげて「35周年記念事業」として、利用者に感謝の気持ちを込めたイベントを開催し、広域的かつ幅広い年代に向けた子どもの健全育成の環境づくりを行った。 ・令和7年12月に、付近に熊らしきものの目撃情報を受け、2週間臨時休館となったが、移動児童館の稼働と近隣の子ども向け施設に出向き遊びの提供や関連施設の視察を行い、事業の継続及び職員の資質向上の機会とした。
評価委員会の年度評価	A	概ね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力をしている。

注) 「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。